

旅行や観光に対する意識調査

2020年7月22日

津山市・（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）

調査の概要

調査の背景及び目的

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響が広がり、本市の観光業を始めとした経済が大きな打撃を被っている中、6月19日には県境をまたぐ移動の自粛要請が解除され、第2波の兆候も認められる中ではありますが、7月22日からは国内需要喚起のための旅行割引企画「GoToキャンペーン」も予定されており、それらに向けた市内観光事業者が対策を考え再興・実行していくための判断材料とするために実施したものの。

調査期間

2020年6月20日(土)～7月5日(日)

調査方法

無記名でのWebアンケート方式

調査対象

津山市及び津山市外の市民、津山市職員

→津山市公式LINE及びフェイスブックでの発信、津山珈琲倶楽部会員等、各種メール登録者へのダイレクトメールにて周知。また、津山市職員向け掲示板でも同様の調査を行いました。

調査実施主体

津山市、（公社）津山市観光協会

回答数

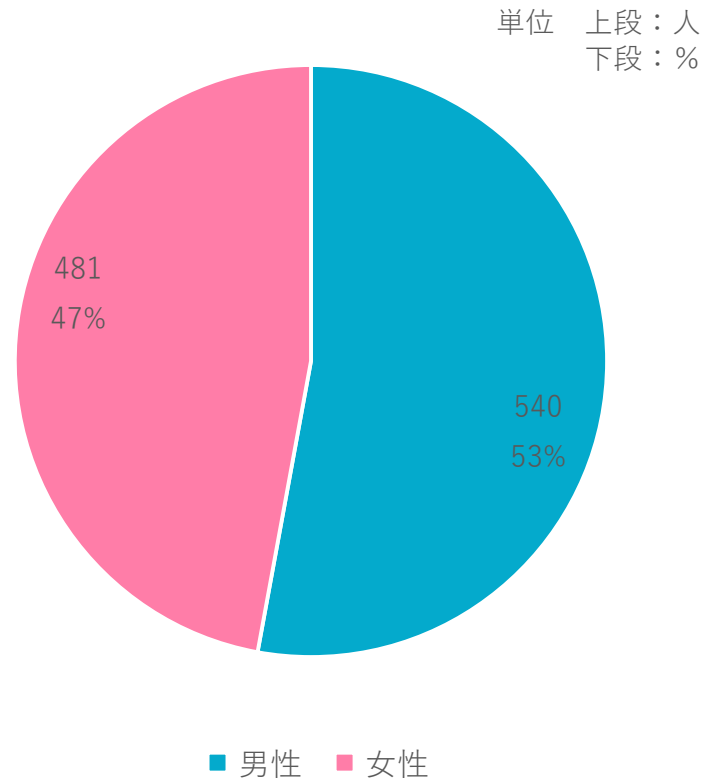
1,021名

備考

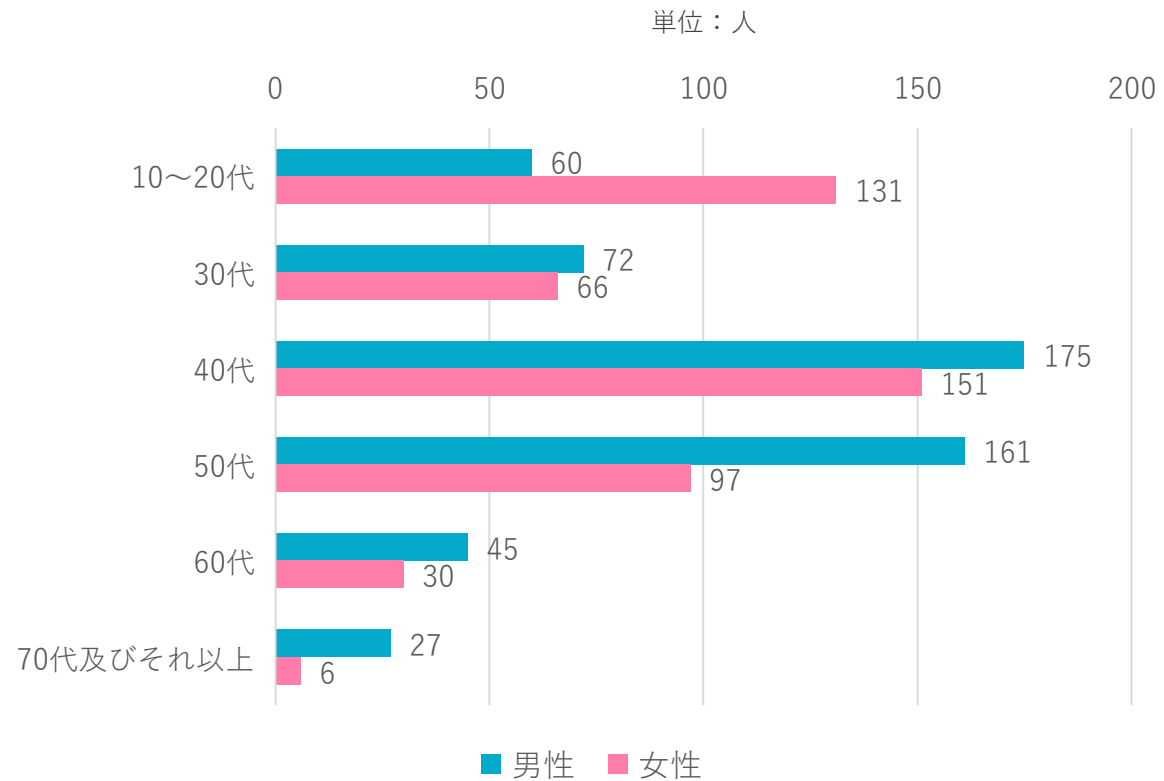
本調査は、あくまで2020年6月20日～7月5日時点での消費者の状況・心情を踏まえた回答結果となります。

回答者属性

性別 (N=1,021)



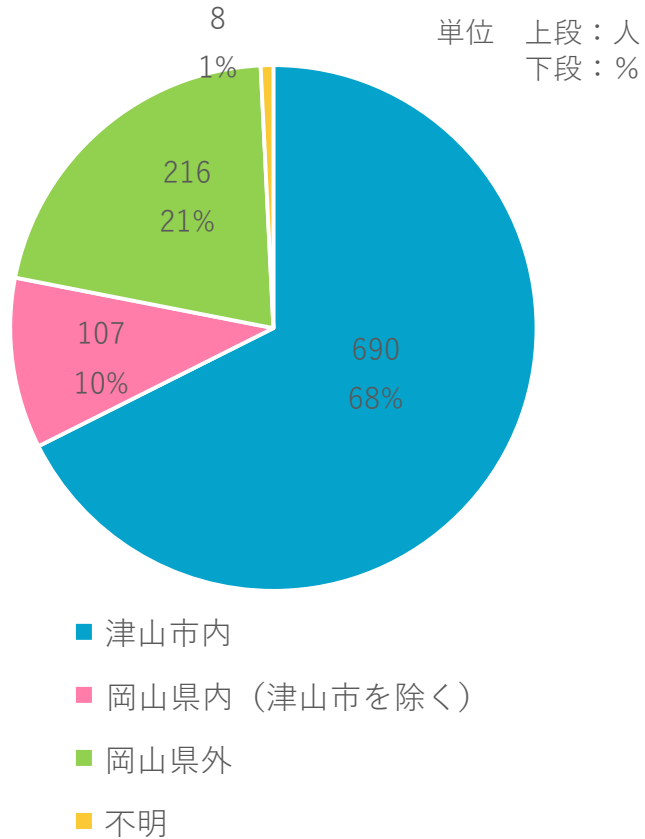
年齢 (N=1,021)



男女比は全体で見るとほぼ1:1となっています。
今回、Web上でのアンケートだったこともあり、60代以上の年代については回答者数が少ないものの、10~20代など、若い世代の意見も多く集まっています。

回答者属性

居住地 (N=1,021)



岡山県外 内訳 (単位：人)

東京都	28
神奈川県	22
兵庫県	20
大阪府	19
愛知県	18
京都府	12
埼玉県	10
鳥取県	8
沖縄県	5
新潟県、鹿児島県、広島県	各4
長野県、静岡県、三重県、高知県、群馬県、熊本県、千葉県	各3
北海道、福岡県、奈良県、徳島県、長崎県、大分県、山口県、香川県、栃木県、石川県	各2
秋田県、山梨県、佐賀県、宮城県、岩手県、山形県、福井県、滋賀県、愛媛県、茨城県、イギリス、中国	各1
合計	207

※都道府県名未回答分があるため、合計数は左図と異なります。

回答者の68%が津山市内在住者であり、津山市民から見た観光のありかたや旅行への考え方がより多く反映される結果となりました。

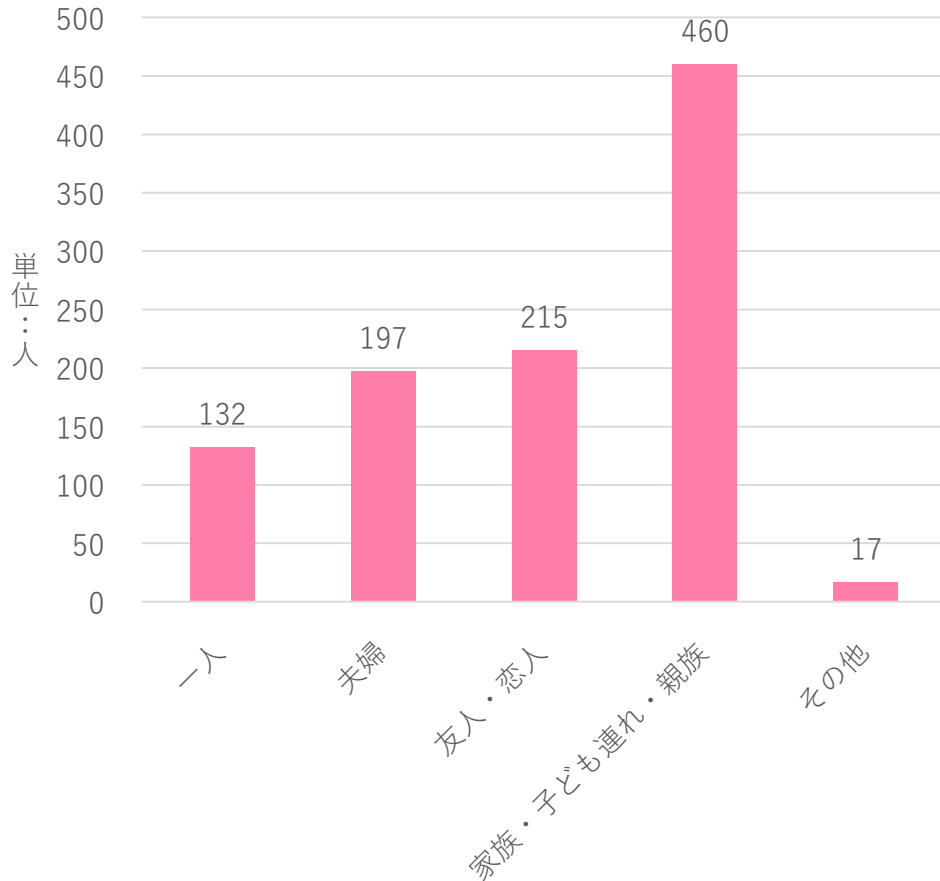
県外在住者の内訳としては東京都が最も多いですが、これはダイレクトメールの対象であった津山珈琲倶楽部会員の居住地内訳の人数比と一致しています。

1.旅行や観光についての考え方

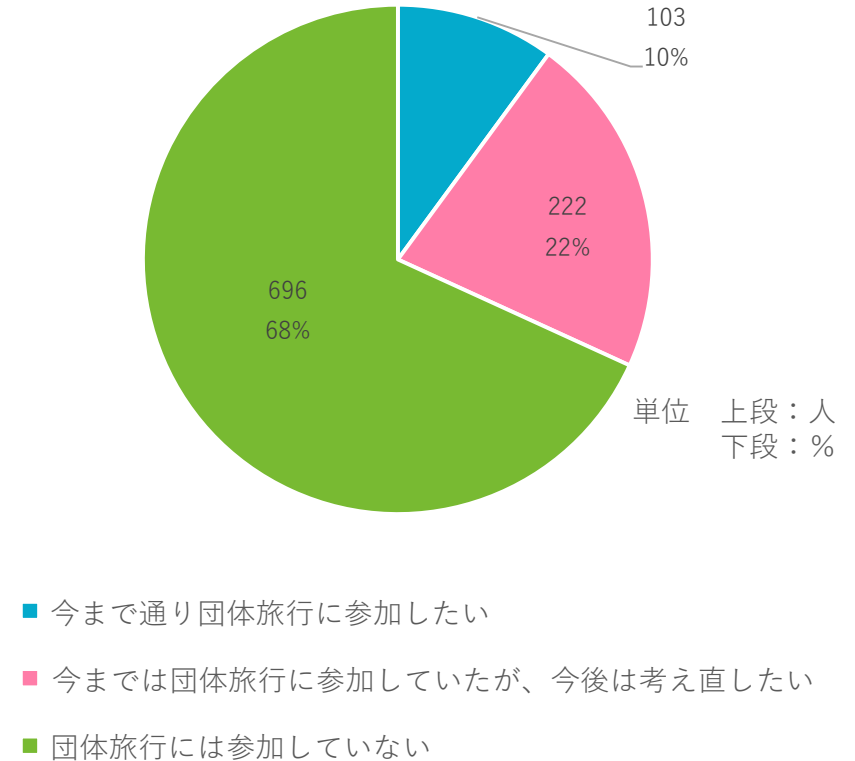
旅行や観光をする側として
現時点でどう思っているか

旅行の形態について

誰と旅行に行くことが多いか



団体旅行への参加について



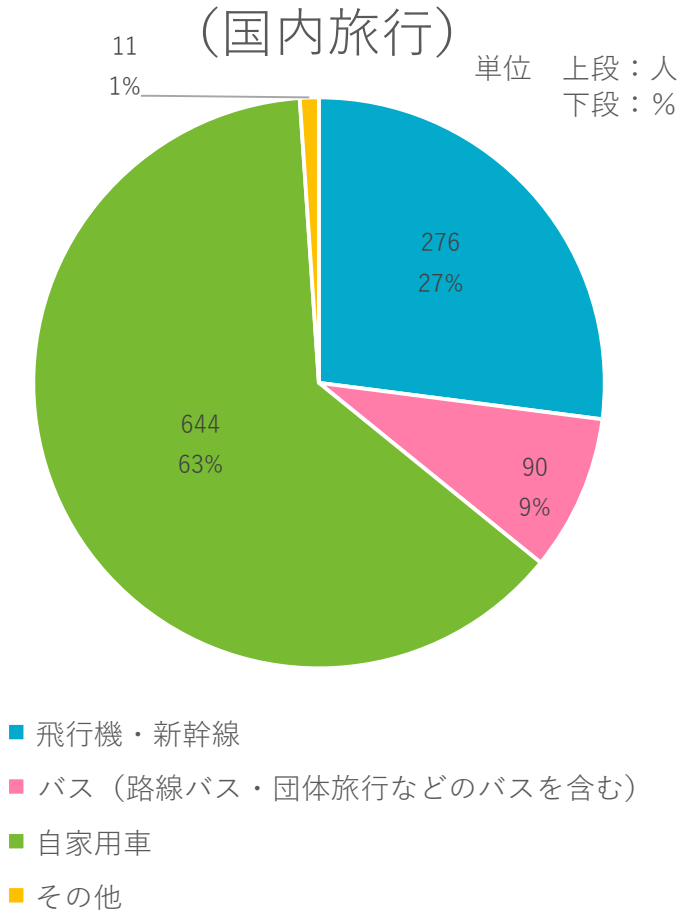
家族連れで旅行をすると答えた人が最も多くなっています。

団体旅行への参加については、参加していないという回答が68%を占め、今後は考え直したいと答えた人と合わせると、割合は90%にのびります。

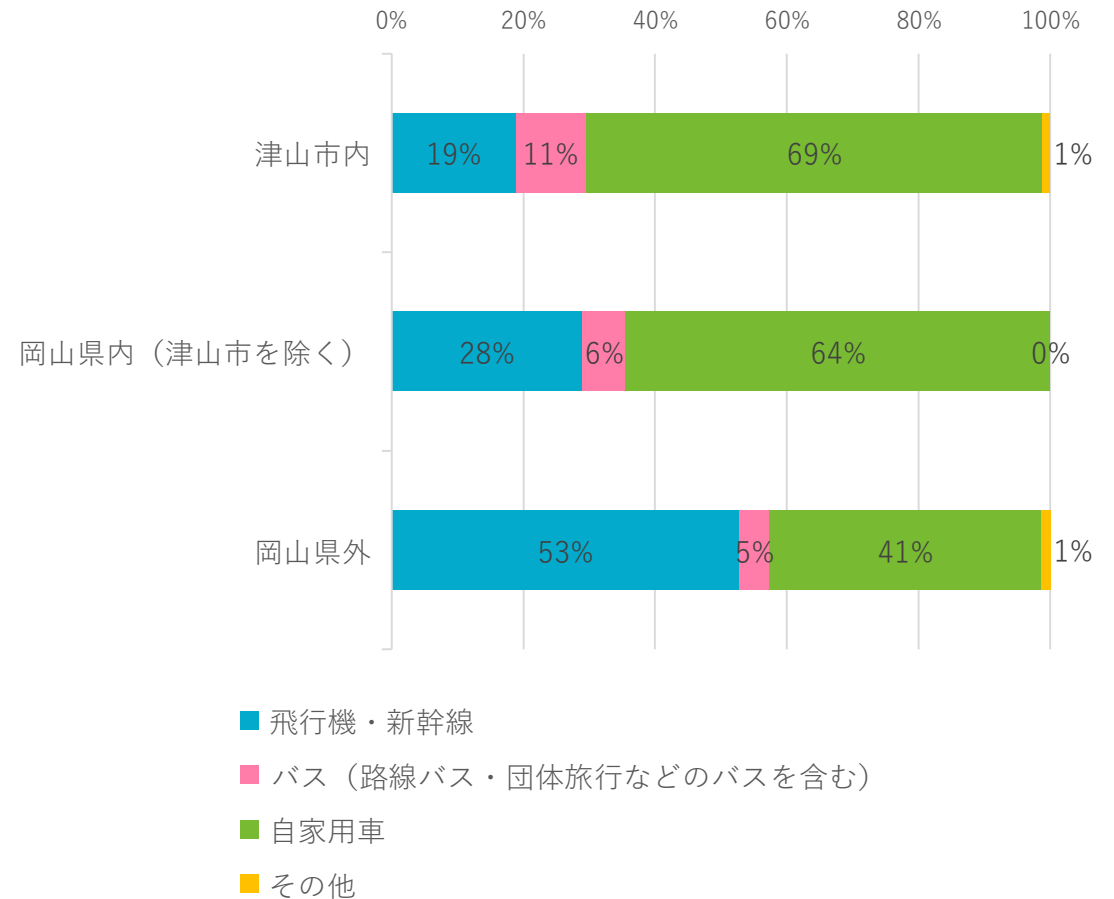
これは、「家族・子ども連れ・親族」の割合が最も多いことも関連していると思われます。また、生活に自家用車が必要な場面が多い津山市在住者の回答が多いということも、団体旅行に参加する人の少なさの理由の1つと考えられます。

旅行の形態について

どのような交通機関を利用するか



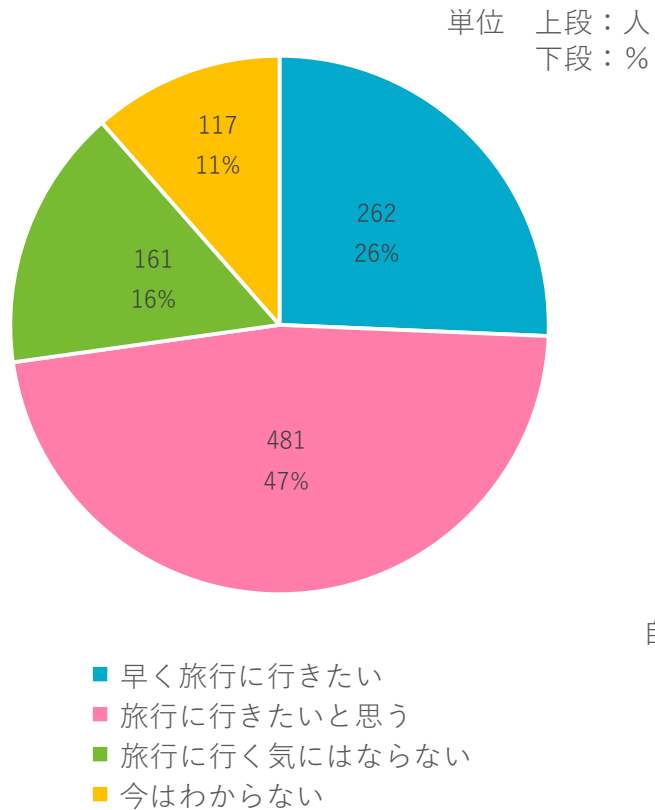
利用交通機関の居住地ごとの分布



利用交通機関について、全体で見ると自家用車を利用すると答えた人が60%を超えています。しかし、居住地ごとに分けてみると、県外在住者は飛行機や新幹線の利用が最も多いという結果となりました。旅行先までの距離にもよりますが、都市圏からの旅行では公共交通機関で移動する人が多く、津山市など生活に自家用車が密着している地域からの旅行では、自家用車で移動する人が多いと考えられます。

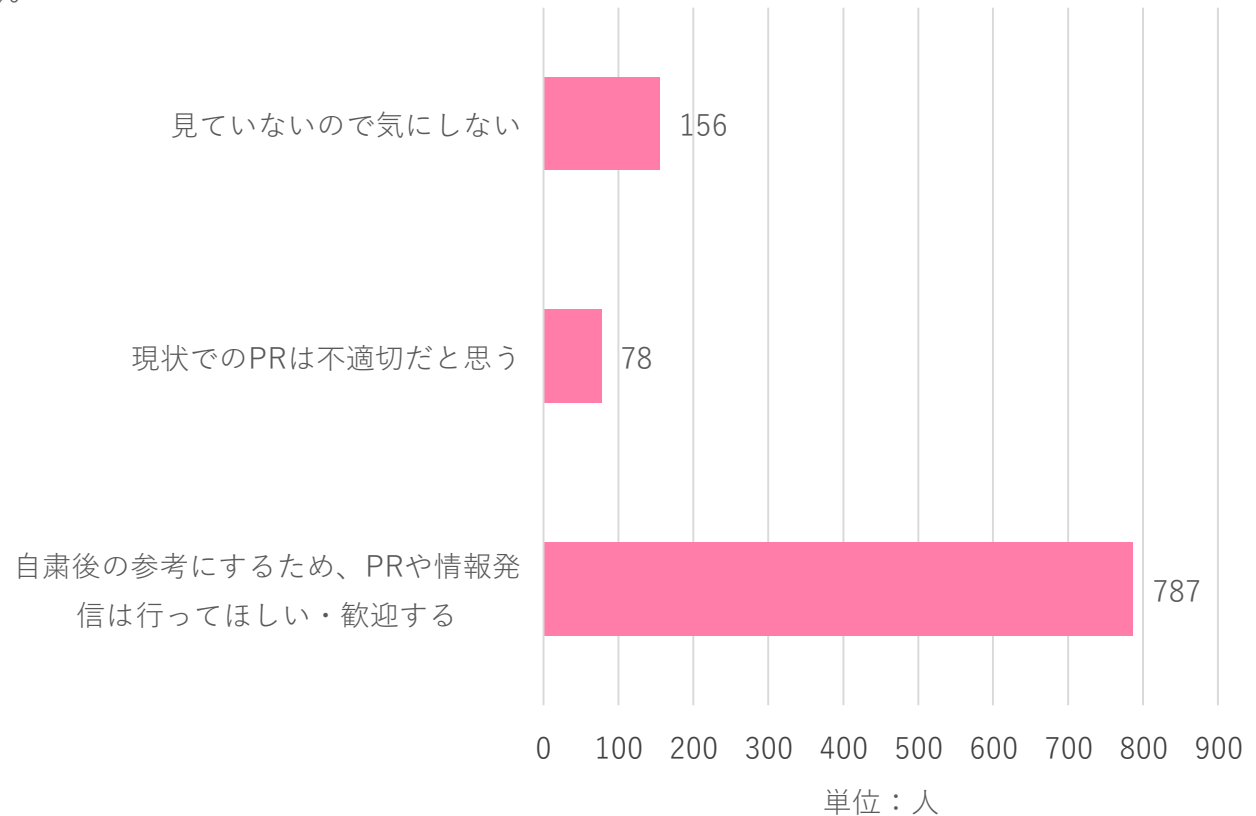
旅行への意欲はありますか

旅行への意欲



旅行情報や観光情報のPRについて

どう思うか

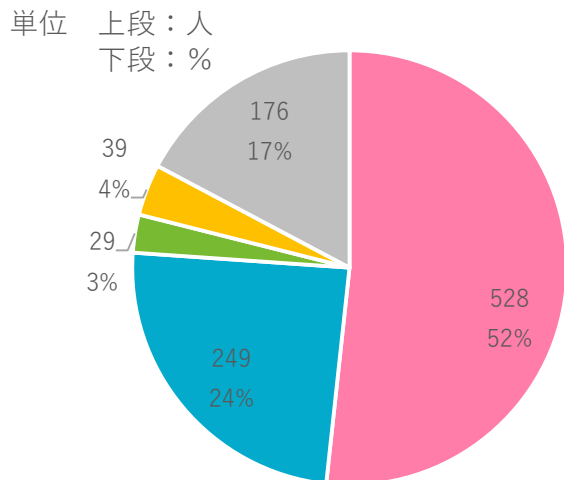


回答者全体の73%が旅行への意欲がある（「早く旅行に行きたい」「旅行に行きたいと思う」の合計）と回答しています。

これを反映してか、観光情報の発信など、PRは行ってほしいと考えている人は全体の77%（787人）でした。

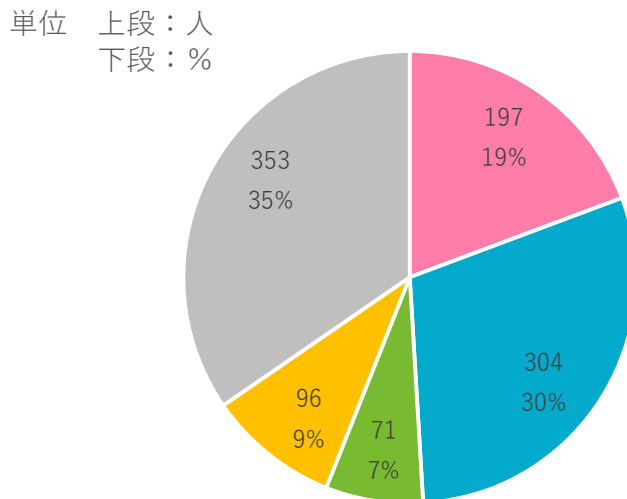
いつごろからであれば旅行してもいいと思いますか

県内など近隣エリア



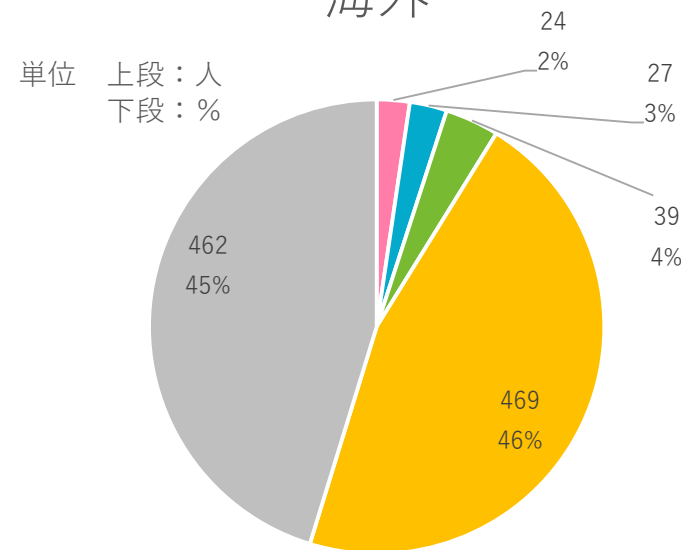
- 7月～8月 (夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月以降 (来春以降)
- 当面は控える

遠方 (国内)



- 7月～8月 (夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月以降 (来春以降)
- 当面は控える

海外



- 7月～8月 (夏休み)
- 9月～11月 (秋の行楽シーズン)
- 12月～2月
- 3月以降 (来春以降)
- 当面は控える

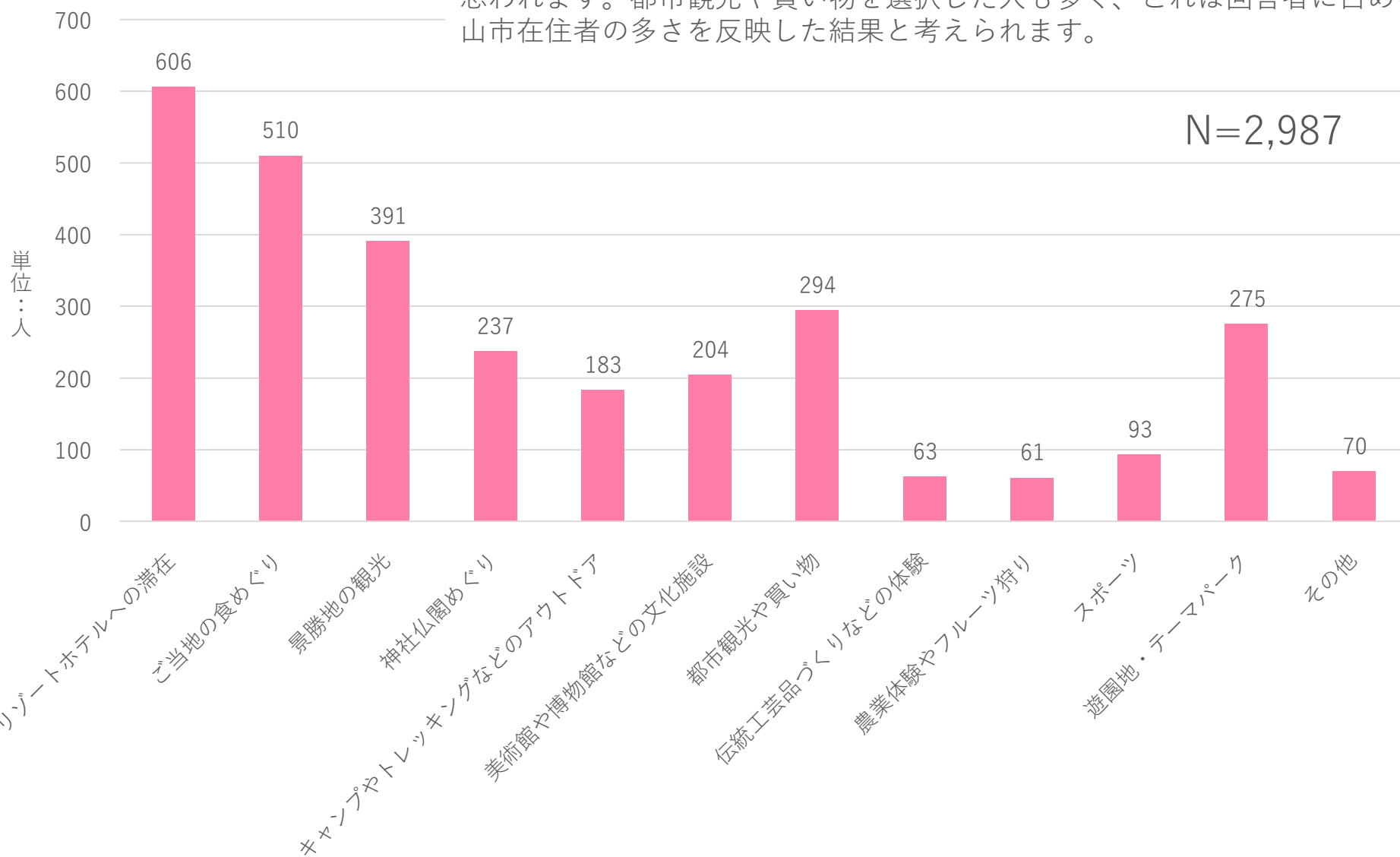
居住地からの距離が遠くなるほど、旅行してもいいと思う時期も遅くなっています。海外にいたっては3月以降（≡当面は控える）が91%を占める結果となりました。

7月22日現在、再び感染者数が増えており、アンケート実施時とは状況が変わっていると思われます。

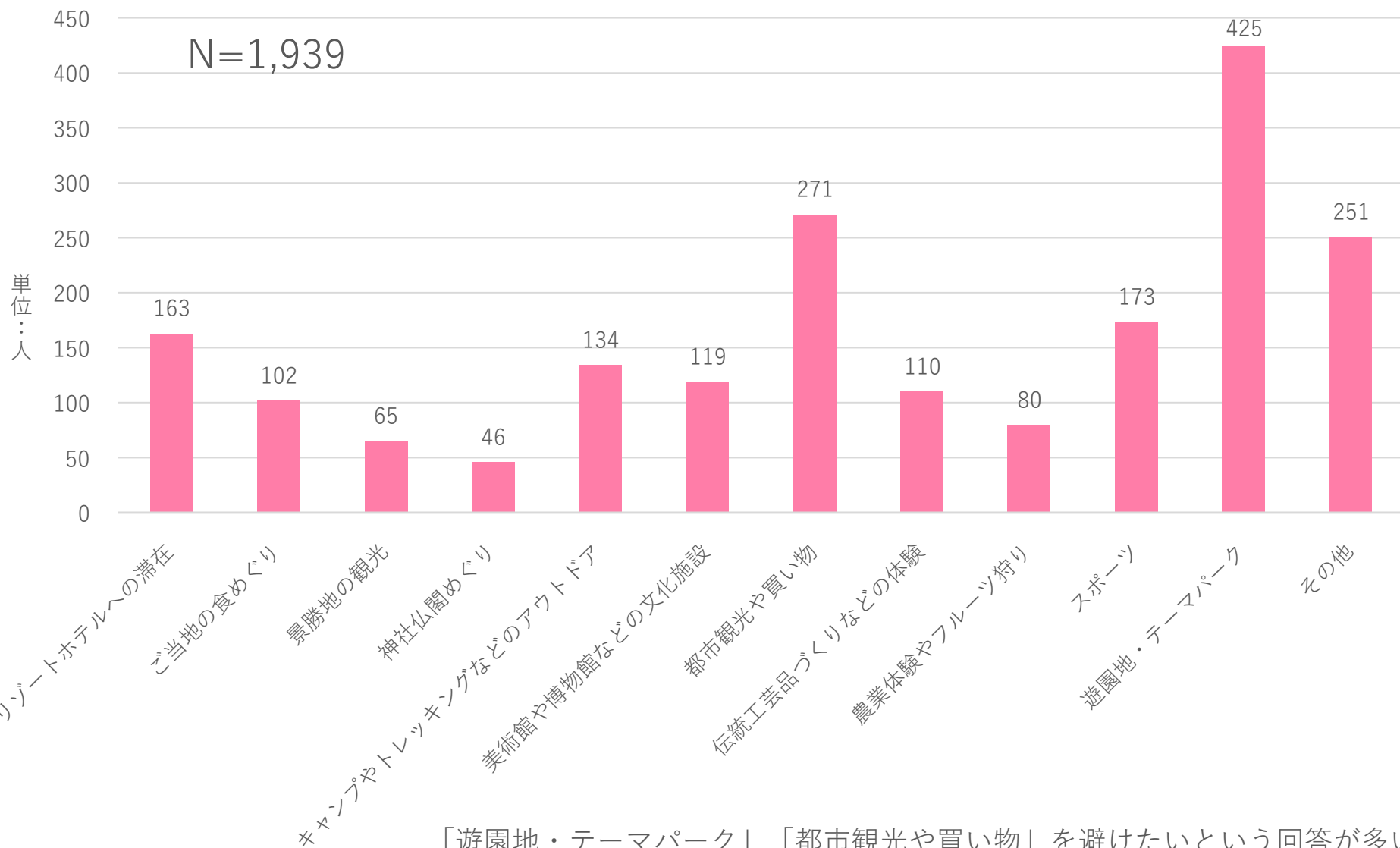
※Web版アンケートには「当面は控える」の選択肢がなかったため、「3月以降」が多くなっていると思われます（「当面は控える」は市職員用掲示板の回答数）。

今後の旅行でやりたいことはどんなことですか（3つまで選択）

不特定多数の人と関わらない旅行や、屋外・自然などが好まれる傾向があると思われます。都市観光や買い物を選択した人も多く、これは回答者に占める津山市在住者の多さを反映した結果と考えられます。

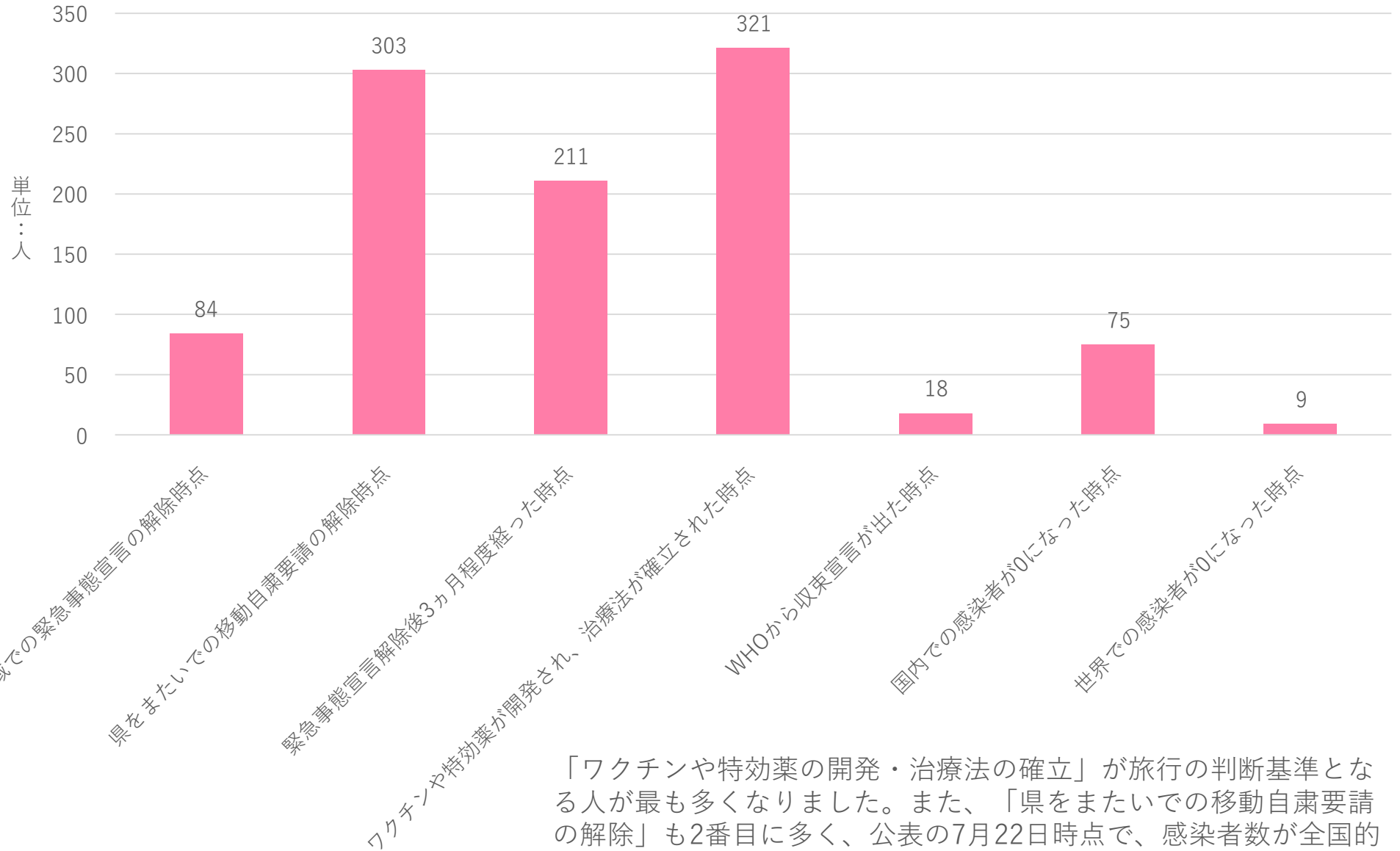


今後の旅行で避けたいことはどんなことですか（3つまで選択）



「遊園地・テーマパーク」「都市観光や買い物」を避けたいという回答が多いですが、これは前項の「やりたいこと」でも一定数の回答がありました。「やりたいこと」とは逆で、屋内や人が多く集まるとされる場所・ことは避けられる傾向にあるようです。

国内旅行をしてもいいという判断の基準はどういった時点ですか

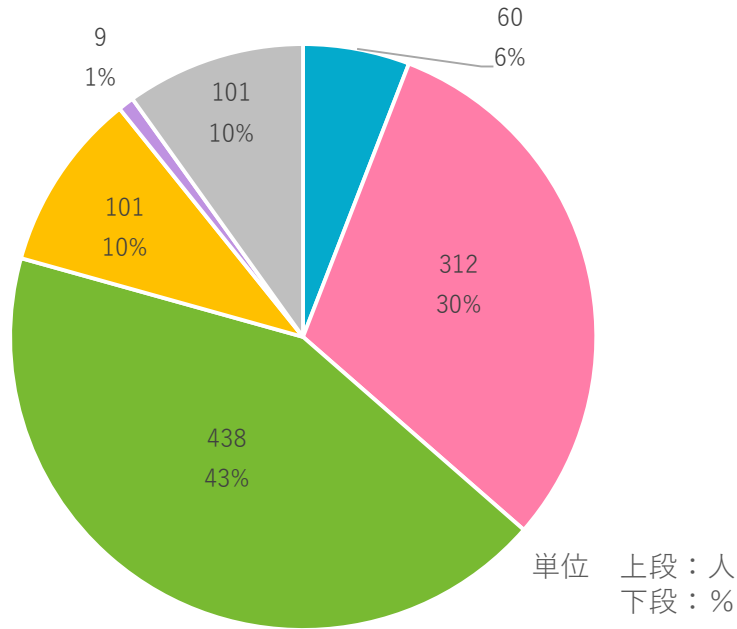


「ワクチンや特效薬の開発・治療法の確立」が旅行の判断基準となる人が最も多くなりました。また、「県をまたいで移動自粛要請の解除」も2番目に多く、公表の7月22日時点で、感染者数が全国的に増加している状況と一致していると予想されます。

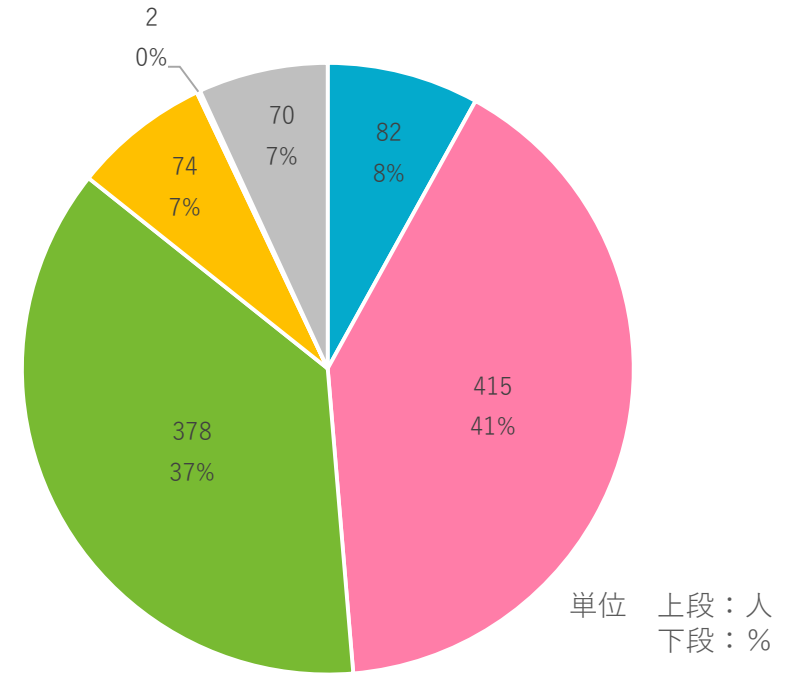
旅行の計画について

いつから旅行計画を立てるか
(宿泊を伴う国内旅行の場合)

宿泊施設の予約はいつから行うか



- 旅行の2週間前かそれ以後
- 旅行の1ヵ月前
- 旅行の3ヵ月前
- 旅行の6ヵ月前
- 旅行の1年以上前
- 特に計画は立てない

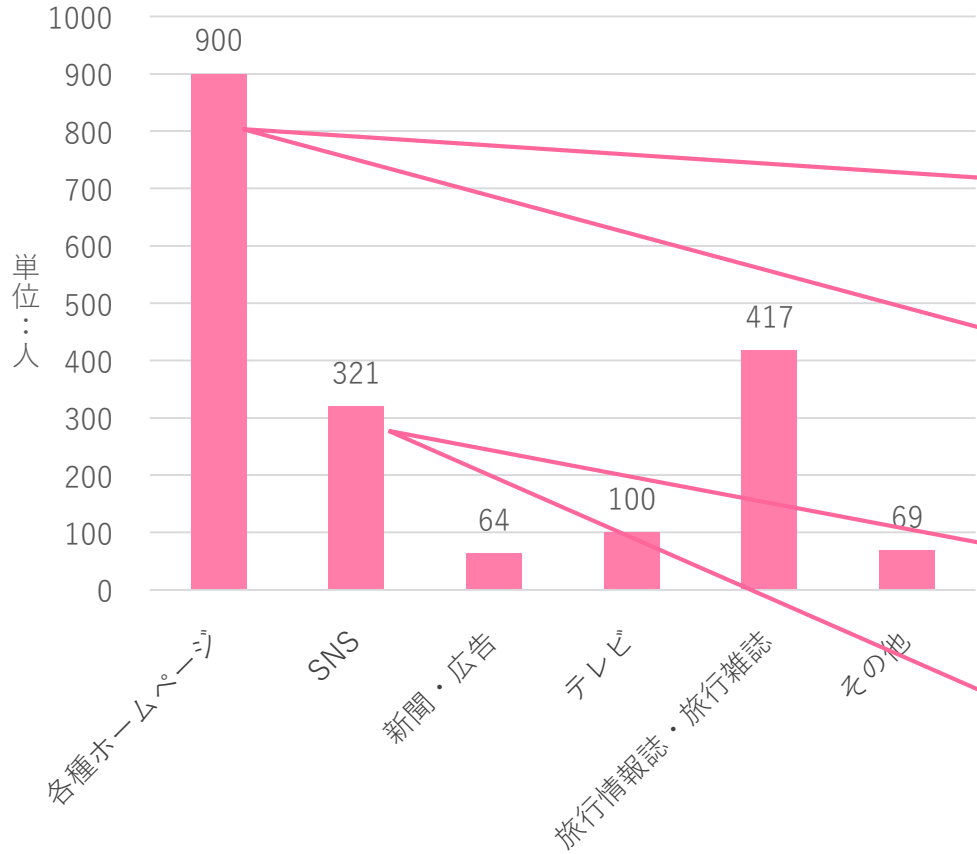


- 旅行の2週間前かそれ以後
- 旅行の1ヵ月前
- 旅行の3ヵ月前
- 旅行の6ヵ月前
- 旅行の1年以上前
- 特に予約はしない

ほとんどの人があらかじめ計画を立て、宿泊施設も予約してから旅行しています。
また、旅行計画と宿泊予約のタイミングについても、ほぼ同時と思われる回答の分布となっています。
個人向け旅行については、次の季節（3ヶ月後）に向けたPRが重要になると考えられます。

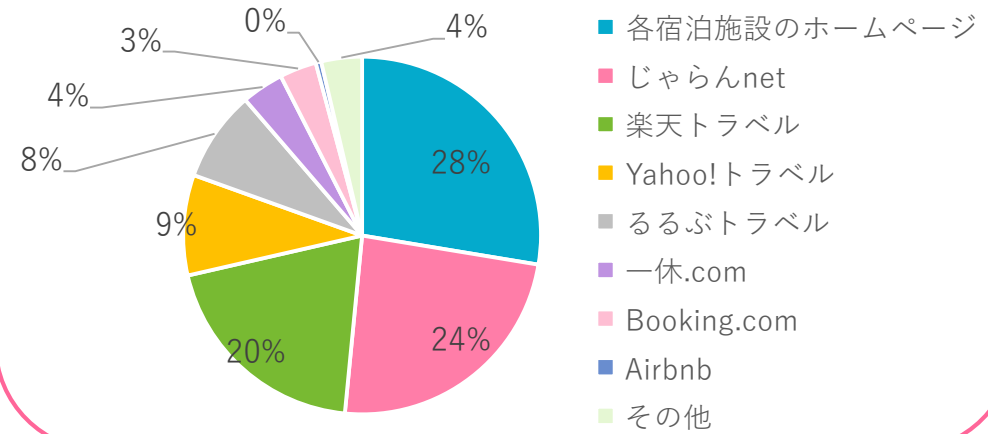
旅行の計画について

旅行先や宿泊施設について調べる際の情報収集手段（複数回答可）

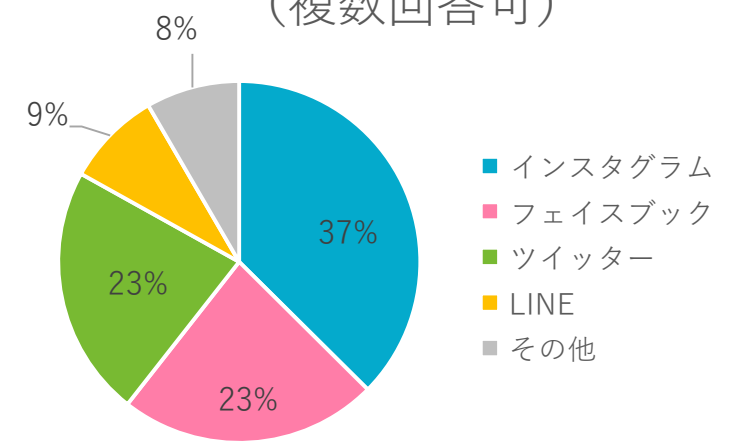


旅行情報の収集手段は圧倒的にホームページが多く、内訳を見ても、各宿泊施設のホームページ整備は必須と思われます。対して、新聞やテレビなどは視聴者が受動的に情報を受け取る媒体であるため、旅行情報の収集にはあまり使われていません。

こういったホームページで情報収集・予約を行うか（複数回答可）

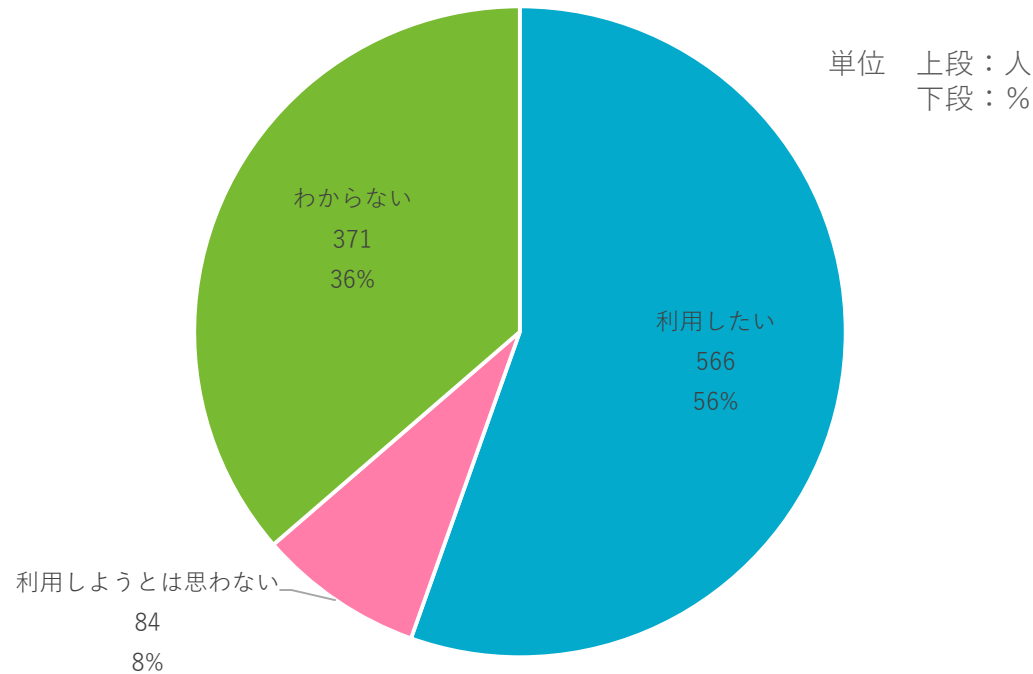


こういったSNSで情報収集を行うか（複数回答可）



各種キャンペーンについて

国や自治体を実施する観光キャンペーン（Go toキャンペーンなど）を利用したいですか。



国が実施する「Go to キャンペーン」に合わせ、さまざまな自治体が観光キャンペーン等を実施予定にしていますが、利用したいと考えている人は全体の56%となっています。

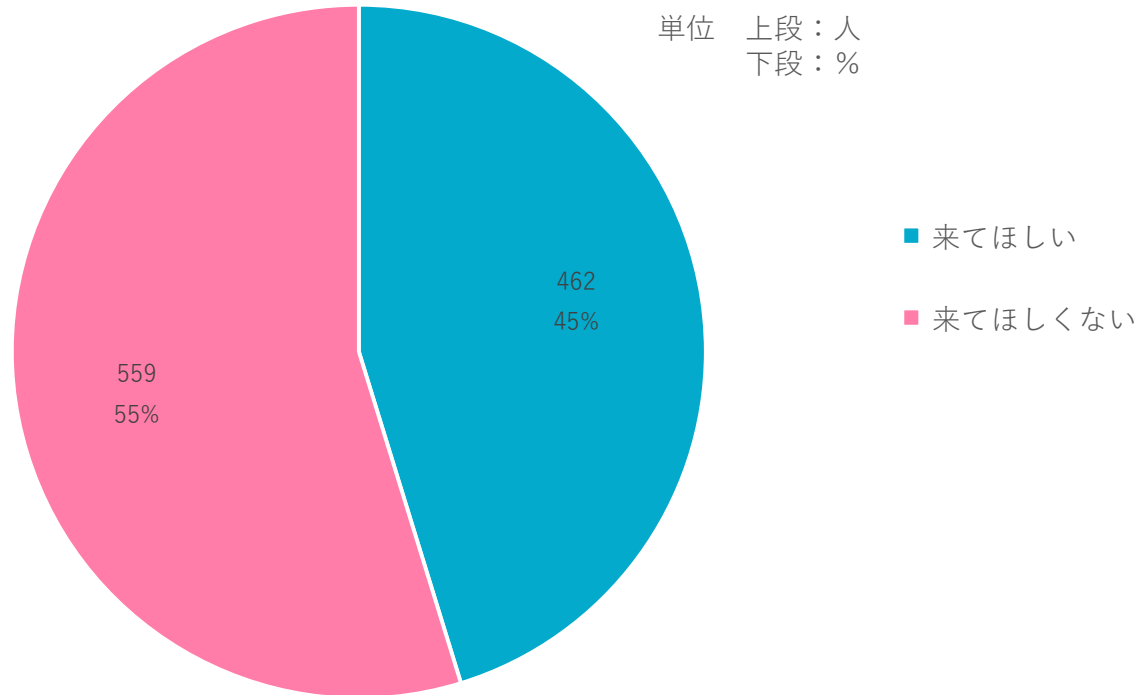
また、アンケート実施時とは状況が変わっているため、改めて同様の質問をした際には、回答の分布にも変化があると思われます。

2.津山市または居住地への 観光客受入について

観光客を受け入れる側として
現時点でどう思っているか

観光客の受入について

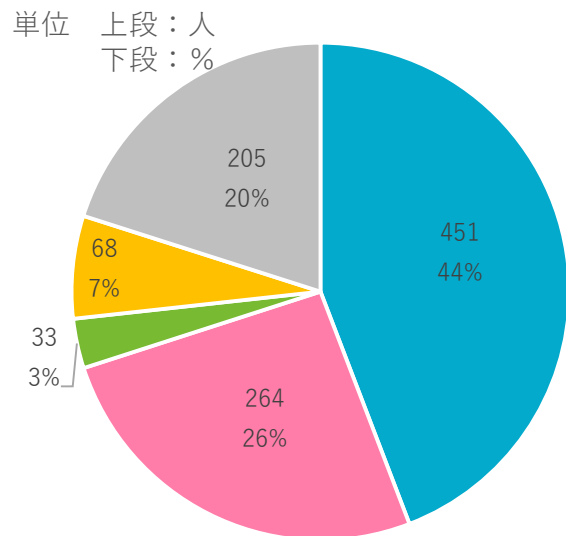
現時点で、観光客に津山市へ来てほしいですか。
(津山市外在住の場合、自分の居住地への観光客受入について)



来てほしい声も多いですが、全体で見ると現時点ではまだ来てほしくないという回答が過半数を占めています。これも、情勢によって大きく左右される項目と考えられます。

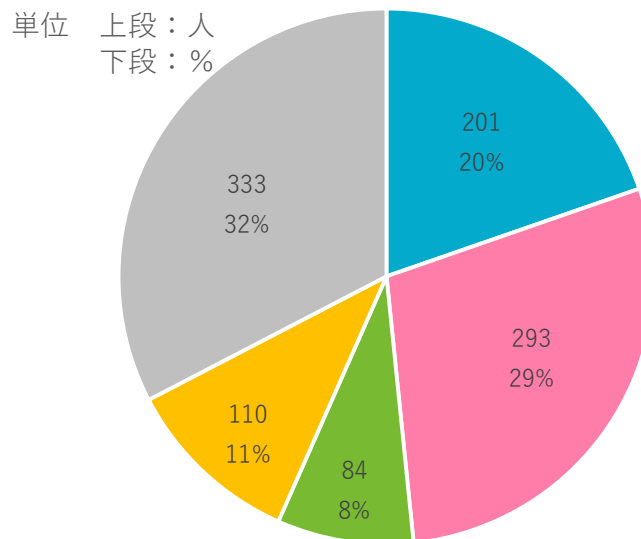
いつごろからであれば観光客を受け入れてもいいと思いますか

県内など近隣エリア



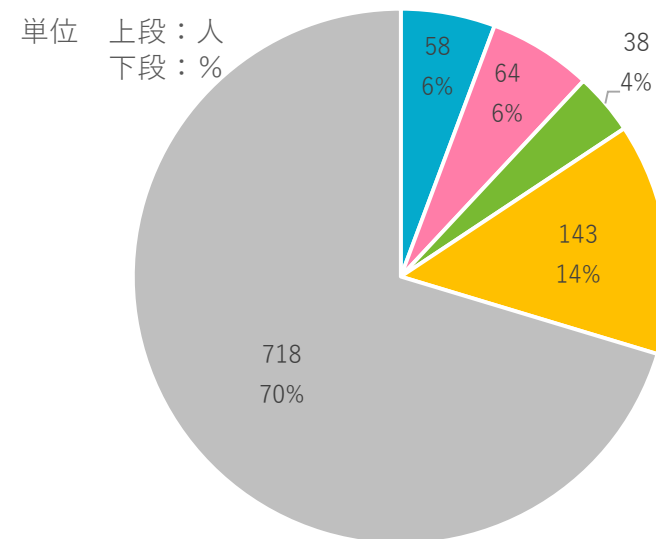
- 7月～8月（夏休み）
- 9月～11月（秋の行楽シーズン）
- 12月～2月
- 3月以降（来春以降）
- 当面は控えてほしい

遠方（国内）



- 7月～8月（夏休み）
- 9月～11月（秋の行楽シーズン）
- 12月～2月
- 3月以降（来春以降）
- 当面は控えてほしい

海外

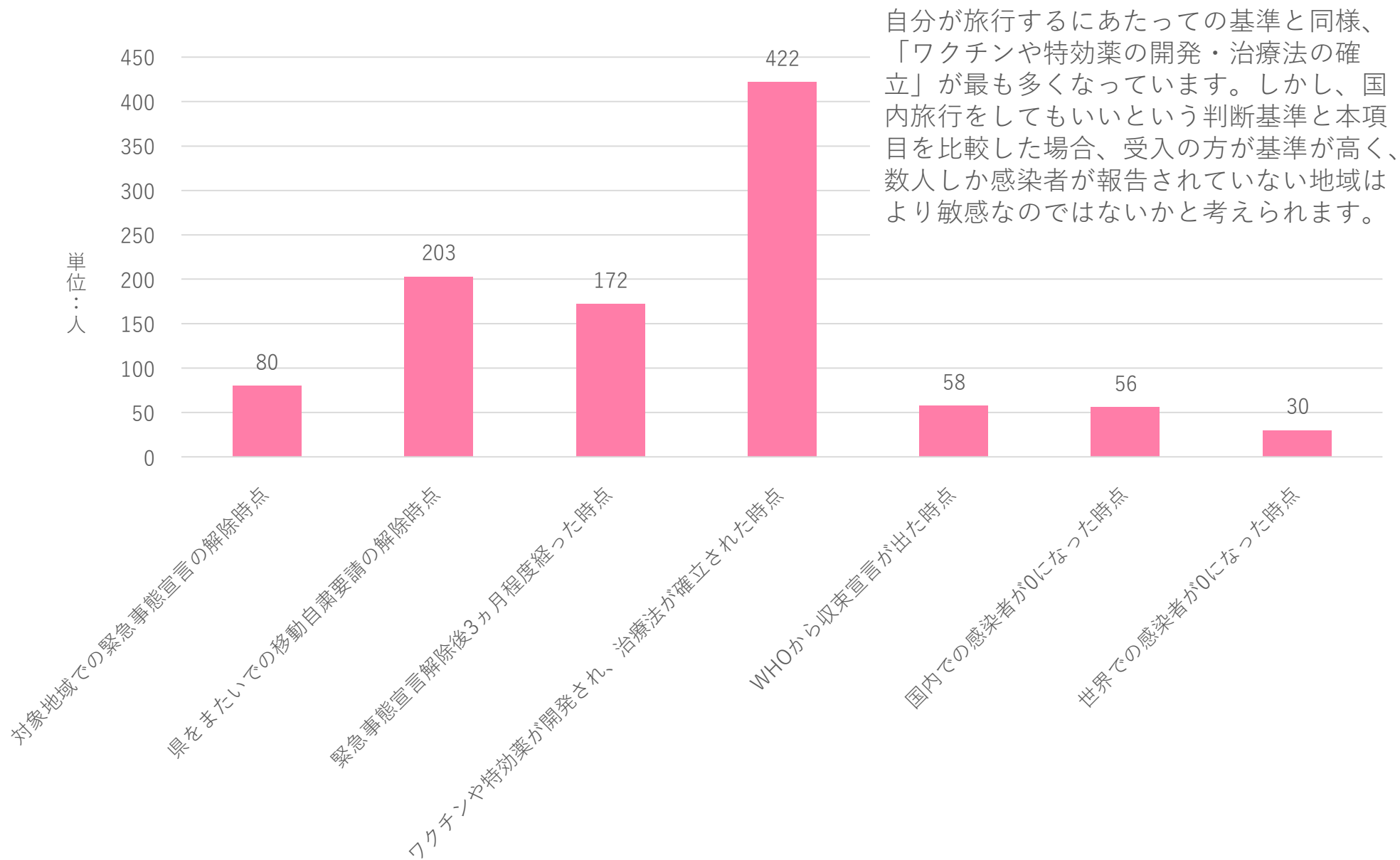


- 7月～8月（夏休み）
- 9月～11月（秋の行楽シーズン）
- 12月～2月
- 3月以降（来春以降）
- 当面は控えてほしい

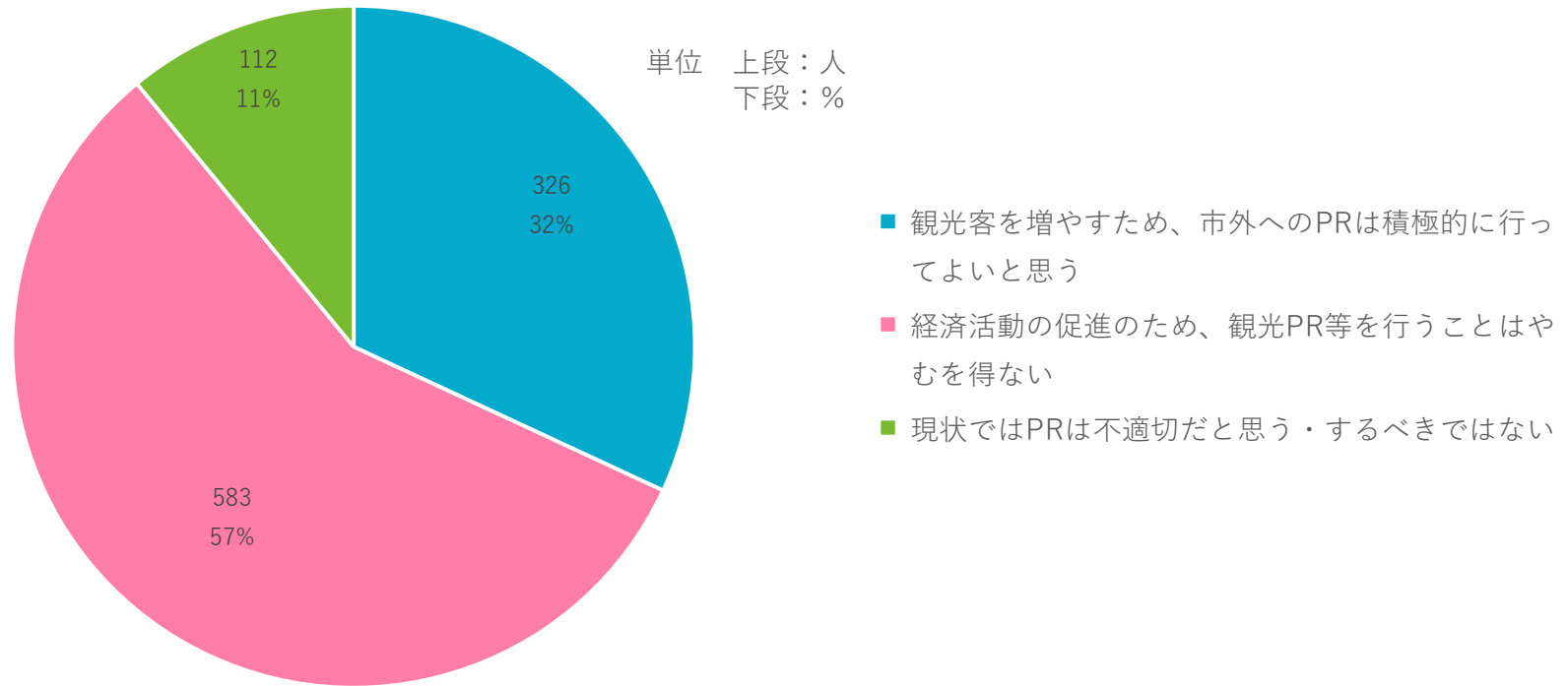
エリアが遠くなるほど受け入れてもいいと思う時期も遅くなるというのは、自分が旅行をしてもいいと考える時期の考え方と同じです。

ただし、観光客の受け入れについては、近隣エリアであっても「当面は控えてほしい」と回答した人が20%にのびります。

受け入れてもいいと判断する基準となるのはこういった時点ですか

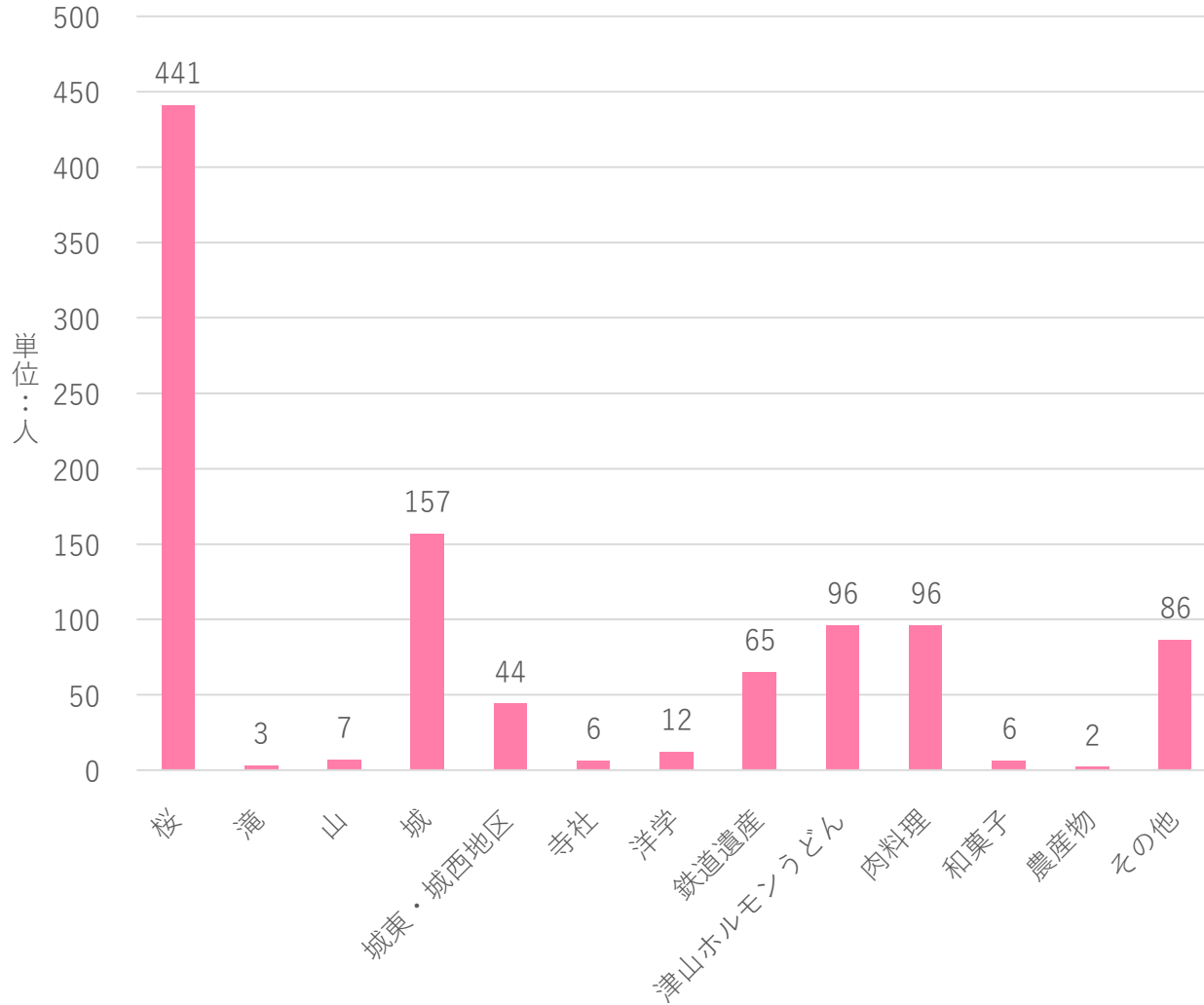


観光誘客のためのPRについてどう思いますか



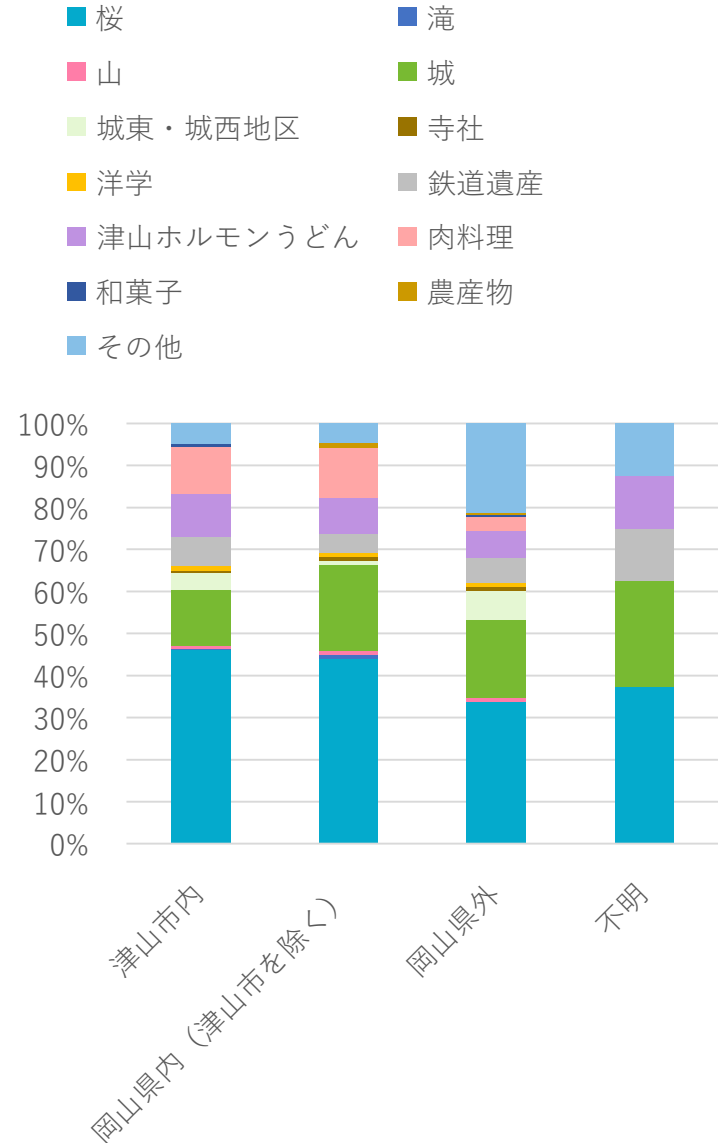
観光客の受入について、「来てほしくない」と答えた人は過半数を占めていましたが、観光誘客のためのPRについては、やむを得ないと考えている人は多いものの、行ってもよいと考えている人が大半であるということがわかりました。

津山市の観光の強みは何だと思いますか（一つのみ選択）



桜が多数を占めており、これは居住地ごとの回答を見ても変わりません。桜の時期に焦点を当て、さらに誘客を促進するほか、まだ知名度が低い観光資源を磨き上げ、全国はもちろん、津山市内に向けても情報を発信していく必要があります。

居住地ごとの回答



おわりに

総括

今回の調査にあたり、1,021名の方に回答をいただきましたことに感謝申し上げます。

調査を通して、コロナ禍中においても旅行への意欲がある人は多く、観光情報を求めているということが実数として示されました。また、観光客を受け入れる側としても、やむを得ないと考えている人は多いとはいえ、観光情報の発信やPRについては肯定的であるという回答が多数あり、ウィズコロナ、アフターコロナ時代において好まれる観光の形態や、情報発信のあり方など、今後の施策へと繋げていけるデータを得ることができました。

現在、刻々と状況が変化しており、旅行や観光に対する意識も変わっていくと思われるので、今後も同様の調査を継続して行っていきたいと考えています。

二次利用等について

この調査内容及び結果について、許可なく二次利用することを禁じます。

また、調査結果については、津山市及び（公社）津山市観光協会（津山版DMO候補法人）で行う施策に活用いたします。その際、関係機関等に調査内容及び結果を提供することがあります。

問合せ先

津山市観光振興課

電話 0868-32-2082

メール kankou@city.tsuyama.lg.jp